

(1)生徒の体力の現状

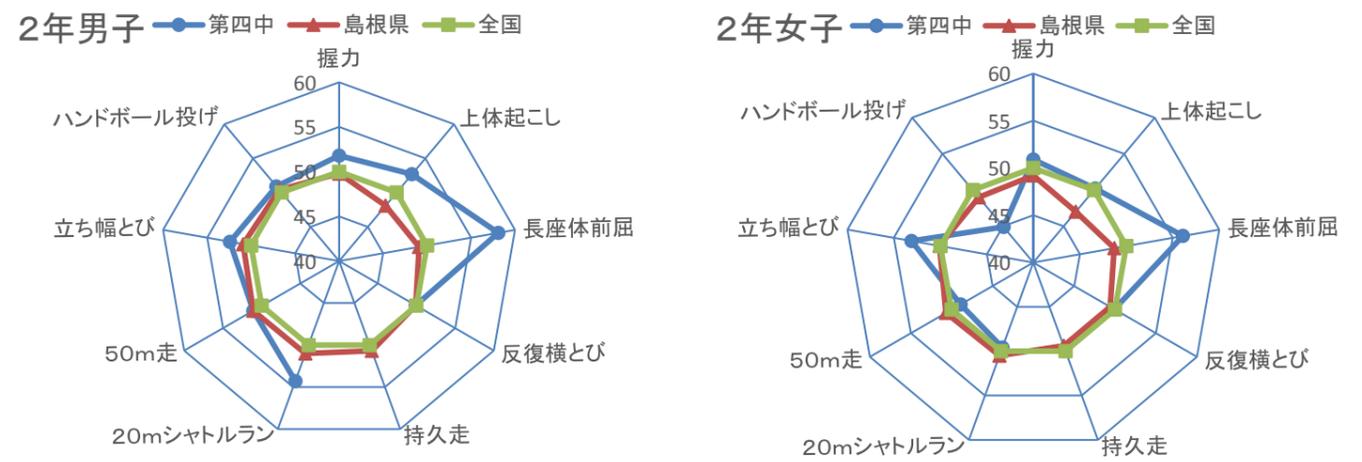
○男子は、反復横跳び以外の項目で全国平均を上回っていた。  
特に長座体前屈、20mシャトルランについては、全国平均を顕著に上回っていた。

○女子は、握力・立ち幅跳び・長座体前屈が全国平均を上回っていた。  
特に長座体前屈・立ち幅跳びについては、全国平均を顕著に上回っていた。

○男女ともに昨年度に比べて大幅に全国平均を上回る項目が増えた。

●女子は、ハンドボール投げが全国平均を大きく下回っていた。

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



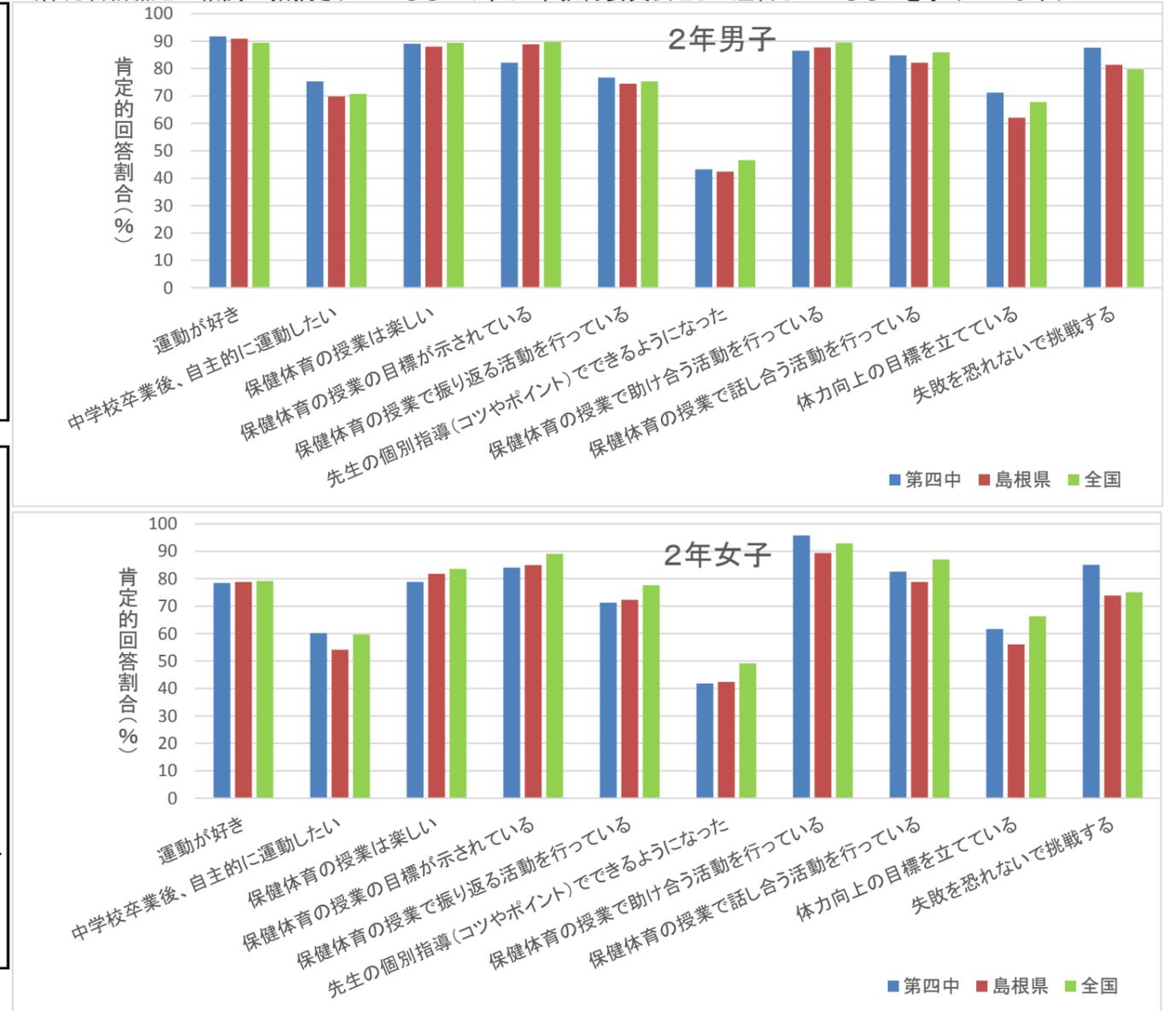
(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

○月1回のシャトルランの実施、成績上位10人のランキングの掲示(男女別・学年別)を行った。また成績優秀者には学期末に体育委員会が表彰を行うなどした。それにより、男子は記録向上につながっている。

○昼休みの体育館の開放により、バスケットボール等で身体を動かす機会を作るようにした。男子を中心に、積極的に利用している。

●本校2年生の運動部活動の加入率は、特に女子に関しては運動部の割合が低い。体育実技の授業の中で自分の体力に関心を持たせたり、体力作りに積極的に取り組む姿勢を育てたりすることが必要だと考える。

(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(3)令和2年度の取組【対策】

①学校における取組

- ・月1回のシャトルラン、ランキング上位者の掲示と表彰を継続して行う。
- ・体育実技の準備運動に合わせてサーキットトレーニングを行う。内容については検討が必要。
- ・授業の中で本時の目標を明示し、振り返りを行う。
- ・個別指導や習熟度別活動を取り入れ、自分に合った場で意欲的に取り組める場をつくり、成功体験を味わうことができるように支援する。
- ・授業の中でグループ活動を行い、積極的に授業に取り組むことができるよう支援する。
- ・体力テスト実施の際には、生徒が力を存分に発揮することができるよう、コツを示したり学年別・男女別の全国平均を示したりするなどし、意欲を高める工夫も必要だと考える。

②地域や家庭との連携による取組

- ・本校の体力の現状や課題を学校だよりやホームページ等を使って情報発信する。
- ・校区内の小学校と情報交換を行い、共通の課題をもって取り組む。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組

- ・本校独自の「手作り弁当の日」等を通して食に対する意識を高めたい。ただ、家庭の事情等でこの取り組みが難しいところもあるので、検討が必要。
- ・給食委員会が週1度給食の残量調査を行っている。年々残量調査への意識が高まってきており、残量ゼロのクラスも増えている。この活動を継続していく。

調査実施者数(人) 1年(男子107・女子87) 2年(男子68・女子85) 3年(男子83・女子94)